

由良地域実質化された京力農場プラン

市町村名	地域名 (該当集落名)	当初作成年月	更新年月
宮津市	由良 由良脇、由良宮本、浜野路、港、 上石浦、下石浦	令和6年3月	

1 対象地区の現状

a 地区内の耕地面積	34.60 ha
b アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	10.30 ha
c 地区内における80歳以上の農業者の耕作面積の合計	2.10 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.10 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.00 ha
d 地区内において今後中核的担い手が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.00 ha
e 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.00 ha
(備考 笠原 正和 dは、5年以内に引受意向のある面積)	

2 対象地区の課題

課題 市の最東部に位置する由良地区は、水稻、みかんの栽培に加え、近年は石浦地区を中心にオリーブ栽培が盛んで特色のある農業が営まれている。農家は、今後5年で、営農承継されなければ80歳以上の方が耕作されている農地が、現在の2.9haから9.0haへと大きく増加し、集落営農組織の高齢化による継続も危惧されている。個人では新規就農者が若干名増加しており、今後、集落営農をはじめ新規就農者での耕作が期待される。 アンケート調査では、5年～10年後の農業経営について、近い将来農業をやめたいという方が過半となり、明確に後継者がいると回答されたのは5名にとどまるなど、今後の担い手対策が喫緊の課題となっており、若手新規就農者の意見を取り入れながら、次世代が営農に携わりやすい環境を整えることが求められている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

規模拡大志向農家や中核的担い手を中心に農地集積・集約化による農地利用の効率化を進める。
